※令和４年度以降入学生用

学校番号	316

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	詳述歴史総合（実教出版）						
副教材等	新詳歴史総合（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①歴史的事象に「なぜ」の視点をもち、原因と結果や事象の影響について考察・把握する。
②歴史を背景とした日本及び世界各国の諸事情を踏まえ、今日の国際社会のあり方を考える。
③歴史的用語の「丸覚え」だけで終わらず、近現代以降の世界の歴史を「大きなストーリー」のような感覚で体感できるようになる。

２　学習の到達目標

① 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解するとともに、史資料から様々な情報を適切に取捨選択し、効果的にまとめる技能を身に着けるようにする。
② 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などの推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、こんにちの国際社会の課題の背後にある歴史的事象を把握し、課題の解決に向けて論を立てる力や、考察、構想したことをわかりやすく説明したり、議論したりする力を養う。
③ 世界史の大きな枠組みと展開を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会で主体的に生きる市民（社会や国家の構成員）としての自覚と資質を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解するとともに、史資料から様々な情報を適切に取捨選択し、効果的に調べまとめる技能を身に着けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などの推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、こんにちの国際社会の課題の背後にある歴史的事象を把握し、課題の解決に向けて論を立てることができ、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，興味をもち、その内容について自ら発展的に調べることができる。さらに深めた知識をもとに既習事項に関連する現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	歴史の扉	歴史と私たち	a:私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解することができる b:近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現することができる。 ｃ:中学校社会科における学習の成果を生かし，必履修科目である「歴史総合」を学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている	中間考査	中間考査	振り返りシート提出物等
	第一章	近代化への胎動 1 ヨーロッパの海外進出と市民社会 2 清の繁栄 3 東アジア諸国間の貿易 4 江戸時代の日本の対外政策 5 江戸時代の社会と生活	a:18 世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18 世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解している b:18 世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:前近代の歴史の変化に関わる諸事象について，興味をもち、その内容について自ら発展的に調べることができる。さらに深めた知識をもとに既習事項に関連する現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	中間考査	中間考査	振り返りシート提出物等

※令和４年度以降入学生用

1学期	第二章	欧米の市民革命と国民国家の形成 6 イギリス産業革命 7 アメリカ独立革命 8 フランス革命とナポレオン 9 ウィーン体制 10.19 世紀のイギリスとフランス 11.イタリア･ドイツの統一 12 東方問題と 19 世紀のロシア 13 アメリカの発展と分裂 14 世界市場の形成	a：産業革命と交通・通信手段の革新，工業化と世界市場の形成，18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解している。 b：産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して，主題を設定し，欧米諸国の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している c：近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について，興味をもち、その内容について自ら発展的に調べることができる。さらに深めた知識をもとに既習事項に関連する現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	期末考査	期末考査	振り返りシート提出物等
	第三章	アジアの変容と日本の近代化 15 イスラーム世界の改革と再編 16 南アジア･東南アジアの改革と再編 17 アヘン戦争の衝撃 18 ゆらぐ幕藩体制 19 開国 20 幕末政局と社会変動 21 新政府の成立と諸改革 22 富国強兵と文明開化 23 近代的な国際関係と国境･領土の画定 24 自由民権運動の高まり 25 立憲国家の成立	a：日本の開国，明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて，立憲体制と国民国家の形成を理解している。 b：産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：19 世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について，興味をもち、その内容について自ら発展的に調べることができる。さらに深めた知識をもとに既習事項に関連する現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	期末考査	期末考査	振り返りシート提出物等

※令和４年度以降入学生用

2学期	第四章	帝国主義の時代 26 帝国主義と世界分割 27 帝国主義期の欧米社会 28 条約改正 29 日清戦争 30 日露戦争から韓国併合へ 31 日本の産業革命と社会問題 32 アジア諸民族の独立運動・立憲革命	a：列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 b：帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：19 世紀末～20 世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，興味をもち、その内容について自ら発展的に調べることができる。さらに深めた知識をもとに既習事項に関連する現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	中間考査	中間考査	振り返りシート提出物等

※令和４年度以降入学生用

2学期	第五章	第一次世界大戦と大衆社会 33 緊迫する国際関係 34 第一次世界大戦 35 ロシア革命とシベリア出兵 36 大戦景気と米騒動 37 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 38 西アジア・南アジアの民族運動 39 東アジア・東南アジアの民族運動 40 戦間期の欧米 41 ひろがる社会運動と普通選挙の実現 42 政党内閣の時代	a:第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 b: 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本と アジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 1910～1920 年代の歴史の変化に関わる諸事象について，興味をもち、その内容について自ら発展的に調べることができる。さらに深めた知識をもとに既習事項に関連する現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	中間 考査 期末 考査	中間 考査 期末 考査	振り返り シート 提出物 等

※令和４年度以降入学生用

2学期	第六章	経済危機と第二次世界大戦 43 世界恐慌 44 ファシズムの時代 45 満州事変と軍部の台頭 46 日中戦争 47 第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 48 戦争と民衆 49 敗戦 50 国際連合と戦後世界 51 戦後と占領の始まり 52 民主化と日本国憲法 53 冷戦の開始 54 朝鮮戦争と日本	a:世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解している。 ・第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b:経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，興味をもち、その内容について自ら発展的に調べることができる。さらに深めた知識をもとに既習事項に関連する現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	期末考査	期末考査	振り返りシート提出物等

※令和４年度以降入学生用

3学期	第七章	冷戦と脱植民地化 55 冷戦対立の推移 56 植民地の独立と第三世界の出現 57 米ソ両陣営の動揺 58 日本の国際社会復帰と高度経済成長	a：脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理，日本の高度経済成長などを基に，国際政治の変容を理解している。 b：地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，日本の高度経済成長の背景と影響，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察，表現している。 c：1950～1970 年代の歴史の変化に関わる諸事象について，興味をもち、その内容について自ら発展的に調べることができる。さらに深めた知識をもとに既習事項に関連する現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	学年末考査	学年末考査	振り返りシート提出物等

※令和４年度以降入学生用

３学期	第八章	多極化する世界 59 石油危機と世界経済 60 緊張緩和から冷戦の終結へ 61 地域協力の進展 62 日本の経済大国化	a：石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解している。 b：アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：1970～80 年代の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，興味をもち、その内容について自ら発展的に調べることができる。さらに深めた知識をもとに既習事項に関連する現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	学年末考査	学年末考査	振り返りシート提出物等

※令和４年度以降入学生用

	第九章	グローバル化と現代世界 63 冷戦体制の終結 64 地域紛争と世界経済 65 グローバルな認識へ	a: 冷戦の終結, 民主化の進展, 地域統合の拡大と変容, 地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に, 冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 b:冷戦の変容と終結の背景, 民主化や地域統合の背景と影響, 地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し, 表現している。 c:1989 年以降の世界の歴史の変化に関わる諸事象について, 興味をもち、その内容について自ら発展的に調べることができる。さらに深めた知識をもとに既習事項に関連する現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	学年末考査	学年末考査提出物等	振り返りシート提出物等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度